

財団法人国際耳鼻咽喉科学振興会
平成 22 年度 (2010 年度) 事業報告

(項目) 寄附行為 (定款) 第 4 条に基づき下記の事業を行った。

1. 国際的に有意義な研究に対する研究助成事業

1) 若手外国人留学生に対する研究助成

研究助成金として耳鼻咽喉科学及び関連分野における優れた外国人若手研究者を公募し
選考委員会において審査した結果、6 名に助成金 25 万円を交付した。交付式は 12 月 1 日。

(1) Nena Baoy Narajos (フィリピン)

熊本大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科 (指導: 湯本 英二 教授)

研究テーマ: 一側声帯麻痺患者の嚥下動態

(2) Muradil Mutallip (中国・新疆ウイグル自治区)

千葉大学耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍 (指導: 岡本 美孝 教授)

研究テーマ: 頭頸部扁平上皮癌におけるマイクロ RNA の機能解析

(3) Mona Elrabie Ahmed Mohamed (エジプト)

京都府立医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科 (指導: 久 育男 教授)

研究テーマ: マウス喉頭粘膜におけるアクアポリン発現とその日内変動の解析

(4) Peem Eiamprapai (タイ)

京都大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科 (指導: 伊藤 壽一 教授)

研究テーマ: 慢性中耳炎耳における細菌叢の分子生物学的検討

(5) PERROT Xavier Georges-Albert (フランス)

東京医療センター・臨床研究 (感覚器) センター (指導: 加我 君孝 名誉センター長)

研究テーマ: フランスと日本の音楽家の聴覚と音楽脳の研究

(6) Angunsri Nakarin (タイ)

秋田大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科 (指導: 石川 和夫 教授)

研究テーマ: 内耳前庭における IGF-1 の効果

2) 若手日本人研究者に対する助成「戸田 SPIO 奨学金」

戸田 SPIO 奨学金として海外の学会での発表あるいは留学する日本人若手研究者を公募し選考
委員会において審査した結果、5 名に奨学金 20 万円を交付した。

(1) 岩崎 真一 (東京大学)

第 26 回 Barany Society Meeting (アイスランド) 2010 年 8 月 18 日~8 月 21 日

(2) 小西 将矢 (関西医科大学)

Cura Privata Piacenza (イタリア) 留学期間 2010 年 9 月~ 1 年

(3) 伊藤 卓 (東京医科歯科大学)

National Institutes of Health (米国) 留学期間 2010 年 10 月~ 2 年

(4) 今泉 光雅 (福島県立医科大学)

The 4th World Voice Congress (韓国) 2010 年 9 月 6 日~9 月 9 日

(5) 留守 卓也 (都立駒込病院)

14th International Thyroid Congress (フランス) 2010年9月11日～9月16日

3) SPIO Award の表彰

日耳鼻学会刊行の AURIS NASUS LARYNX (ANL) 37 巻に掲載された論文を選考委員会において審査した結果、国立癌センターの吉本世一氏が選ばれた。賞状と賞金 5000 ドルを贈呈。表彰式及び講演は第 112 回日耳鼻総会・学術講演会 (23 年 5 月 19 日) において行われる。

2. 国際的学術会議等の開催に対する助成事業 別紙「助成学会一覧」参照

1) 国際学術会議等に対して下記 2 件を含む 37 件へ助成をした。

①第 7 回国際扁桃・粘膜免疫シンポジウム(100 万円)

②第 7 回東アジア音声外科学会(100 万円)

2) 国際学術交流に対する助成として、以下の 3 件の招待講演等へ助成した。

①第 55 回日本音声言語医学会総会(50 万円)

②第 40 回日本耳鼻咽喉科感染症研究会・第 34 回日本医用エアロゾル研究会(30 万円)

③第 21 回日本頭頸部外科学会総会(30 万円)

3. 公益目的を達成するために必要な事業

1) 第 111 回日耳鼻総会時(22 年 5 月仙台)に SPIO クラブを開設し、SPIO の広報活動を行うとともに、会員相互の交流を図った。

2) ニュースレター第 10 号を発行した。(22 年 4 月 30 日発行)

3) ホームページにおいて適宜更新を行った。

4. その他法人運営

1) 理事会及び評議員会を開催した。(22 年 5 月 19 日及び 23 年 3 月 23 日)

2) 臨時理事会及び臨時評議員会を開催した。(22 年 9 月 7 日及び 23 年 1 月 17 日)

3) 公益財団法人への移行準備が進められ、9 月 22 日公益認定の申請を行った。